

本日の作業（注連縄ない）

1. 作業内容の説明（末国栄之助氏）

作業は、大注連縄作り、房作り、手ない小注連縄作り、の3種

2. 大注連縄は、舞殿で1組（数名）が師匠の指導下で作る。

注連縄師匠：貢 通総氏

作る大注連縄は、6本で内訳は表のとおり。毛切りするのが3本ある。

大注連縄が1～2本できたら、祓い殿に持ち込み宮司からお祓いを受ける。

3. 房は大注連縄に取り付けるもので、計14個作る。

房作り師匠：末国征男氏

手紬いの小注連縄が間に合わなければ機械縄を使う。

4. 房取付け用の小注連縄を手で紬って作る。

師匠は、腕に覚えのある者

長さは約1mで42本作る。

5. 作業が終了したら、あいさつの後で解散する。

6. 本当屋は残って、各所用の小注連縄切り、大注連縄等の祓い殿搬入を行う。

大注連縄の種類と本数

	設置場所		長さ	青竹切 (4 本)	房 (計 14 個)	御幣
大注連縄	祓い殿	内部	3.5m(毛切り)	無	無	○
	祓い殿	入口	6.0m(毛切り)	無	総 3 個	○
	白鳥神社	入口	4.0m(毛切り)	4.0m	総 2 個	○
	鳥居	門柱(石)	5.0m	5.0m	総 3 個	○
	鳥居	木作	5.0m	5.0m	総 3 個	○
	鳥居	祭礼原	5.5m	5.5m	総 3 個	○
小注連縄 (手紬い、左縄)			房用、長さ 1 m	14 房×1 房当たり 3 本 = 42 本		

注：大注連縄の端結びは、機械縄を使う。

小注連縄の取付け場所と長さ、本数ほか

場所	長さ	本数	青竹	場所	長さ	本数	青竹
祓い殿	26m	1		踏切前	5m	1	
神輿倉	8m	1		駅舎前	6m	1	
若宮社	6m	1		大船橋	3.5m	2	4
湯沸し場	8m	1	4	落合橋	3.5m	2	4
白鳥社	5m	1		金の御幣(集会所)	6m	2	2
舞殿前	8m	1		金の御幣(中)	6m	1	
杉の木	3.5m	2		神輿置き場	15m	1	4
杉の木間	5m	1		祭礼原出口	6m	1	2
ガヤの木	3.5m	2		御幣櫃	4m	1	
山伏墓	1.5m	1	2				
相撲取り墓	1.5m	1	2	計		25	24